

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	南信濃福祉の里整備事業	会計	一般会計	事業No.	200	施策順No.	35-011
		事業種別	政策・重点	予算科目	3-1-4-10-12		
政策	3 健やかに安心して暮らせるまちづくり	課等名			介護高齢課		
施策	35 高齢者福祉の推進	事業期間	開始	21	終了		

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	飯田市の高齢者						A十分達成した Bどちらかといえれば達成した Cどちらかといえればできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
		65歳以上の高齢者数		29020	29440	29615	29523	
	意図	市内どこに住んでいても、安心して暮らせるサービスを提供する。						
対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
	公設デイサービスセンター設置数			9	9	10		A
	飯田下伊那の特養・介護老人ホームの定員			1222	1222	1222		
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	特養遠山荘の8床増床及びスプリンクラー設置により、施設が整備された。							

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	南信濃福祉の里整備事業として、特養遠山荘の老朽化した設備を更新するとともに、南信濃デイサービスセンターの整備を行い、高齢者が安心して暮らせる福祉環境を整える。 22年度から27年度までの過疎計画に盛り込まれた南信濃高齢者共同住宅整備事業及び南信濃デイサービスセンター整備事業を実施する。		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	1 遠山荘スプリンクラー設置工事	1	1 47,000千円
23年度実施計画	1 特別養護老人ホーム遠山荘便所改修工事(既存倉庫撤去、入居者用トイレ設置、女子職員トイレ移設) 2 南信濃高齢者共同住宅2階開口部及び渡廊下雨除け用パネル壁設置工事 3 南信濃デイサービスセンター渡廊下屋根改修工事	1 2 3	1 10,000千円 2 1,500千円 3 2,000千円

3 事業コスト

事業費	特定財源	(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項 過疎対策事業債
	国庫支出金					
	県支出金					
	起債				13,500	
	その他	47,000	46,174			
一般財源						
計 (A)	47,000	46,174	13,500			
正規職員所要時間						
臨時職員等所要時間						
人件費計 (B)			0			
トータルコスト A+B		46,174				

4 事業に対する市民や議会の意見

--

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分		具体的な取組事項	
21年度決算と比べての効果額(千円)		効果額説明(算出根拠)、特殊要因	

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	安心して生き生き暮らす	施策の成果指標又はムトス指標	安心して暮らせている高齢者の割合
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	通所する要介護、要支援認定者が、整備された施設環境で食事や入浴、機能訓練等の介護サービスを受けることができるため、利用者の生活機能の維持、向上が図れるとともに、介護者の負担軽減につながる。また、特養遠山荘等の整備により、高齢者が受けられる施設サービスが充実する。		
	後期に向けた課題			
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	人口減少や高齢化が進んでいるが、地区内の高齢者サービスの確保について一定の成果をあげている。		
	後期に向けた課題			
コストを削減するためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り			
	後期に向けた課題			
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	高齢者サービス利用者が質の高いサービスを受けられる。		
	後期に向けた課題			
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を発揮するために、行政はどのような働きかけをしてきましたか、又は、配慮してましたか	4年間の振り返り	①飯田市社会福祉協議会が指定管理者 ②行政は施設整備、改修等の支援を行ってきた。		
	後期に向けた課題			
全体を通じて	4年間の振り返り	高齢者サービスが低下することのないよう、支援を継続してきた。		
	後期に向けた課題	人口減少や高齢化が進む中で、地区内の高齢者サービスを維持、確保していく為の方策の検討。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要がありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要がありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	-----------------------------------